

## 非常持出品を準備しよう!

いざという時にすばやく避難できるように、非常用品を防災袋に入れて常備しましょう。避難先で困らないように、眼鏡や持病の薬など、自分には必要で、入手が簡単ではないものを用意しておくことが大切です。特に寒冷期は防寒用品を忘れずに。

### 一次持出品リスト◆ 避難するときに最初に持ち出すもの。(男性:15kg、女性:10kgを目安)

□準備ができたものには、チェックを入れましょう	□ 貴重品	□現金(小銭も) □通帳類 □証書類 □身分証明書 □健康保険証 □免許証 □印鑑
	□ 携帯ラジオ	
	□ 懐中電灯	□予備の電池(多めに用意する) □予備の電池 □予備の電球 (懐中電灯は、できれば一人一つ用意)
	□ 救急薬品	□ばんそうこう □ガーゼ □包帯 □消毒薬 □解熱剤 □胃腸薬 □風邪薬 □鎮痛剤 □常備薬 □とげぬき
	□ 非常食・飲料水	□カンパンや缶詰 □飲料水 □水筒 □紙皿 □コップ □ナイフ □缶切り
	□ その他	□下着 □上着 □靴下 □ハンカチ □タオル □ティッシュペーパー <sup>①</sup> □ビニールシート □予備の眼鏡 □マスク □笛 (乳幼児のいる場合:□ミルク □ほ乳びん □おむつ □バスタオル) (要介護者のいる場合:□着替え □おむつ □障害者手帳 □常備薬)

### 二次持出品リスト◆ 災害復旧までの数日間を自活するためのもの。

◆ 最低3日分、できれば5日分を用意しておきましょう。

□準備ができたものには、チェックを入れましょう	□ 食糧	□缶詰やレトルト食品 □栄養補助食品(チョコレート、梅干し、チーズなど)  □飲料水(大人一人当たり1日3㍑が目安) □生活用水:風呂の栓は抜かず、やかんやポットに水を入れておく (炊事、洗濯、トイレなどに使用)
	□ 水	
	□ 燃料・その他	

- このリストには、一般的なものを示しています。ご家庭の状況などに応じて、必要なものを準備しましょう。
- 非常持出品は、定期的に保存状態や使用期限を点検し、必要に応じて交換しましょう。

## 使いながら備蓄する「循環備蓄」

「循環備蓄」(ローリングストック)とは、備蓄した食品を定期的に食べて、食べた分を買い足していく方法です。

災害用保存食ばかりではなく、缶詰やレトルト食品などの消費期限が1年程度のものでも非情用の備蓄品として保存できます。普段から食べているものが災害時の食卓に並ぶので、普段食べ慣れない非常食よりも、多くの人が安心して食事をとることができます。

